

スクールカウンセラーからのお知らせ (H31.1)

スクールカウンセラー 吉田 晴美

あけましておめでとうございます。冬休みも終わり、いよいよ3学期！各学年しめくくりの季節ですね。おまけに今年は、「平成最後」という枕詞まくらことばがついています。平成の締めくくりは、どんな形になるんでしょうね・・・。

今回は、気仙沼の漁師さんから聞いたお話を紹介してみたいと思っています。その人は、気仙沼湾で牡蠣かきの養殖をしていて、「森は海の恋人運動」というのをしている人で、海の生き物を育てるために、山に木を植える活動を続けていらっしゃいます。

さて、海の生き物を育てるのに、どうして山に木を植えるのでしょうか？それはね・・・。

皆さんは牡蠣は何を食べて育つか知っていますか？それは、水の中にいる植物プランクトンで、その植物プランクトンは、海水と淡水が混じっている汽水域きすいいきに多く生息しているそうです。牡蠣も汽水域で育てられています。

そして、植物プランクトンが育つためには鉄分が必要で、汽水域の水中には鉄が多く含まれているということが研究でわかってきたそうなのです。ただ、鉄は水に触れると錆びて沈んでしまうので、水中に存在するためには、ある物質とくっつく必要があって、それが、森林で作られる「フルボ酸」という物質なのだそうです。

山でたくさんの葉が落ち、腐葉土ふようどになり、土にしみこみフルボ酸になり、川に入って鉄と結びつき「フルボ酸鉄」ができ、植物プランクトンを育て、それを食べて牡蠣が育つという仕組みができあがっているのだそうです。

つまり、海の生物を育てることと、遠く離れた山に木を植えるという、一見関係がないように思えることの中に、大きな意味があるということを教えてもらいました。



小田北中学校には、毎週火曜日に来ています。悩みがあってもなくても誰かに話す事で、それまでとは違う何かが見つかることもあります。こんなこと、人に話すことじゃないんじゃないかとか、恥ずかしいとか、どうせわかってもらえないに違いないとか、いろいろ思うかもしれませんが、一人で考え続けるより誰かと一緒に考える方がいいこともあるので、気軽に話しに来てみて下さいね。

カウンセリングを申し込む時は・・・。

担任の先生や佐伯先生に言って下さい。

部活の顧問の先生や保健室の坂上先生でももちろん構いません。



3学期のスクールカウンセラーの予定（1/18,2/28 以外は火曜日）

1月	8日	18日（金）	22日	29日	
2月	5日	12日	19日	26日	28日（木）
3月	5日	12日	19日		

保護者の方へ



中学生という、子どもからおとなへ移り変わる時期のお子さんが、時に不安定な様子を見せたり、今までとは違う言動を表したりする事があります。そんなとき、お父さんやお母さんの方も心配が強くなったり、対応に迷われたりということが、起こるかもしれません。

スクールカウンセラーの役割は、心の発達やコミュニケーションの視点から、子ども達の行動や心の動きをとらえ学校生活を支えていくことにあると考えています。先生には話しにくいことや、学校生活以外の日常生活の中で困っておられること、子育て全般についてなど、気軽に話していただくことで、子どもの心が理解しやすくなったり、別の解決方法が見つかるかもしれません。

3学期は、上記の日程で9時30分頃から4時30分頃まで学校に居ります。担任の先生を通してご連絡をください。お仕事等でご都合がつかないようでしたら時間帯の変更も可能ですので、お問い合わせ下さい。子どもたちの学校生活、そして大事な将来につながる心のサポートをしていきたいと考えております。よろしくお願い致します。